

AbbVieサプライヤー 行動規範

2022年1月発効

2022年1月

AbbVieは、常に患者さんに焦点を置いた業務を行っています。治療が最も困難な疾患に専門知識を活用するほか、患者さんの治療の道徳性を理解することに努め、より良好な転帰を得る機会を特定します。私たちは、美容医療の進歩を推進する製品と技術を創造しています。

患者さんのための献身は、業務のあらゆる側面に及びます。AbbVieは、患者さんの生活に目覚ましい影響を与えるという責任を果たす上で、サプライヤー様をパートナーと見なしており、サプライヤー様にはこのことを踏まえて行動していただくことを期待しています。

さらに、AbbVieは最高水準の倫理およびコンプライアンスを維持しており、サプライヤー様にも同様の倫理・コンプライアンスを維持していただくことを求めています。AbbVieは、サプライヤー様と強力な関係を築いてきたこと、また倫理、コンプライアンス、公正な慣行、誠実さ、安全、持続可能性、品質の重要性について意を共にしていることを誇りに思っております。

AbbVie サプライヤー行動規範にご署名いただいた場合、貴社がこれらの原則、ガイドライン、および期待事項を順守することに同意したものと見なされます。

この重要な作業への皆さんの取り組みに感謝いたします。

よろしく申し上げます。



Azita Saleki-Gerhardt, Ph.D.
オペレーション担当エグゼクティブ バイスプレジデント

はじめに

AbbVieの全体的な成功には、AbbVieのサプライヤーの協力が欠かせません。AbbVieおよびサプライヤーは、顧客に質の高いヘルスケア製品を提供するというAbbVieの能力に影響を及ぼす意思決定を毎日行っています。

AbbVieサプライヤー行動規範は、AbbVieとのビジネス関係を確立・維持するための原則、ガイドライン、および期待事項を定めています。AbbVieは、連邦政府と州が定めた医薬品および医療機器の基準、および業界の規制の枠内で業務を行っています。また、法律に沿った倫理的な方法で事業活動を行い、品質の高い製品を提供することに努めるAbbVieの取り組みを共有できるサプライヤーとビジネス関係を持つよう尽力しています。サプライヤーはAbbVieの事業の延長線上にあるため、AbbVieはサプライヤーにも同様の行動規範に従って行動してもらうことを期待しています。

AbbVieは、文化的な違いや、これらの原則を世界各地で解釈・適用する上で生じる問題を認識しています。AbbVieはこれらの原則は普遍的なものであると考えていますが、こうした期待を達成する方法は、一様ではない可能性があるものの、世界の多様な社会の法律、価値観、および文化的な期待に沿っていなければならないことを理解しています。

AbbVieのすべてのサプライヤーは、製品とサービスが規定の要件に常に適合していることを保証する品質管理システムを維持する責任を負います。AbbVieのサプライヤーは、製品/サービスの品質、およびサプライチェーンの安全とセキュリティについて全責任を負うものとします。

すべてのAbbVieのサプライヤーは、AbbVieサプライヤー行動規範に定めた原則、ガイドライン、および期待事項を理解し、これを順守することが求められます。質問がある場合は、AbbVie調達担当者に問い合わせいただくことを強くお勧めします。また行動の妥当性に関して質問がある場合は、AbbVie調達/サプライヤー管理までお問い合わせください。AbbVie調達/サプライヤー管理部門の社員は、該当するAbbVieポリシーの概要と詳細なガイダンスを提供します。

AbbVieは、サプライヤーがこのAbbVieサプライヤー行動規範を順守していることを検証する権利を留保します。AbbVieはこのサプライヤー行動規範を順守していない行動または状況に気付いた場合に、是正措置を講じる権利を留保します。

AbbVieは、サプライヤーの社会的な責任を監視するプログラムを策定しました。このプログラムには、サプライヤーがAbbVieサプライヤー行動規範を忠実に守っているかどうかの調査や監査が含まれます。本プログラムに関する詳細情報は、SupplierSustainability@abbvie.comまでお問い合わせください。

倫理

サプライヤーは、倫理的な方法で事業活動を行い、誠実に行動するものとします。AbbVieは、サプライヤーが以下のような倫理に関する法規制のすべての要件を順守することを求めています。

1. 利益相反

利益相反は、客観的な意思決定を行い、AbbVieにとって最大の利益になる行動を取る能力を妨げる可能性のある利害衝突がある場合に必ず存在します。AbbVieおよびAbbVieのサプライヤーには、良識ある判断を行うことが求められ、またAbbVieへの信頼を損なう利益相反があるように見える状況を避けることが求められます。

AbbVieと事業活動を行うサプライヤーは、AbbVieにとって最大の利益になる行動を取るために客観的な意思決定を下す能力を妨げる可能性のある利害衝突を一切持たないものとします。良識ある判断はもちろんのこと、利益相反があるように見えることも避けることが求められます。

利益相反の可能性、または実際の利益相反に遭遇した場合、すべてのサプライヤーはAbbVieに直ちに通知するものとします。

2. ビジネスの誠実さおよび公正な競争

サプライヤーは、競争的に事業活動を行い、適用されるすべての法律、規範および規制を完全に順守するものとします。サプライヤーは、贈収賄、または取引関係や政府との関係において他のいかなる違法な誘導にも加担しないものとします。サプライヤーは、正確かつ正直な広告など、公正な商慣行を採用するものとします。

サプライヤーには、AbbVieビジネス行動規範の適切な規定が通知されるものとし、これには、AbbVie社員とのやりとりに関係する次のような考え方が含まれます。

- 社員は、AbbVieと事業活動を行うすべてのサプライヤー、顧客、および他の人物と個人の財政上の対価や個人的な関係に基づくえこひいきや好みを排除して、完全に公正かつ客観的な方法で対応するものとします。
- 社員は、購入の意思決定に影響を与え、または影響を与えるように見える可能性のある個人または会社からの贈答品、公平でない割引、支払い、手数料、融資、接待、優遇、またはサービスを(直接的または間接的に)受領または提供しないものとします。
- 社員はAbbVieを代表して近親者と商取引を行わないものとします。また、サプライヤーの事業において、AbbVieの社員がサプライヤーとAbbVieの関係に影響を与えるように見える、または影響を与えることができる場合、社員はそのような事業において金銭的利害を持たないものとします。このような関係は、AbbVieの原則に従って開示する必要があります。
- 社員は、AbbVieの広報部から許可を得ずに、AbbVieの名称やロゴを使用する許可を与えないものとします。

AbbVieの契約社員および代理人(例:コンサルタント、契約販売員、講演者、販売業者、治験医師など)も、

AbbVieビジネス行動規範の適用される規定を順守する必要があります。

AbbVieの社員およびサプライヤーは、AbbVieサプライヤー行動規範の違反、または違反の可能性について、AbbVie調達/サプライヤー管理、または倫理・コンプライアンスオフィスまで直接報告する、あるいは倫理・コンプライアンスホットライン(1-800-254-0462)経由で報告することが求められます。

AbbVieは、報告されたAbbVieサプライヤー行動規範の違反について速やかに調査を行います。社員およびサプライヤーには、調査に協力するよう求められます。是正措置が必要な場合、AbbVieは問題に対処する手順の要点を説明します。

3. 懸念の特定

サプライヤーは、AbbVieとの関係において懸念または違法行為があった場合に、報復の脅し、脅迫、またはハラスメントを恐れずにそれらを報告することが奨励されます。AbbVieは、懸念について審査し、適時に対応します。

4. 動物福祉

試験または一連の作業での動物の使用は、複数の代替方法を十分に検討し、それらが却下された場合にのみ行います。苦痛およびストレスを最小限に抑えながら、人道的に動物を扱うものとします。動物実験は、動物に基づかない実験方法を検討した後にのみ行います。動物実験を行う場合は、使用する動物の数を減らしたり、または実験に使用される動物の苦痛を最小限に抑えるために手順を改善したりします。代替方法は、科学的に有効であり、規制機関に許容される場合に使用します。

受託検査および共同研究を行う研究所は、国際実験動物ケア評価認証協会(AAALAC)の認定を受けている必要があります。また、そのような研究所における動物のケアおよび使用プログラムは、研究所に委託する前に一度、および委託後は定期的に、AbbVieの獣医スタッフによって評価され、AbbVieの動物福祉オフィサーに承認される必要があります。

5. 機密情報の取り扱い

サプライヤーは、AbbVieの書面による明示的な事前承諾を得ている場合以外に、およびAbbVieの利益のため以外に、AbbVieの機密情報を使用または開示しないものとします。特に、サプライヤーは、AbbVieの機密情報を他のサプライヤーと話し合ったり、AbbVieの機密情報を競合他社に開示したりしないものとします。AbbVieの事業にかかわるあらゆる情報やデータは、当該情報が公になっていない限り、常に社外秘として扱われるものとします。機密情報には以下が含まれますが、これに限定されません。

- 購入材料仕様・条件
- 見積依頼書
- 原価計算表
- 利益情報
- 資産情報

- サプライヤー名
- 価格設定
- 購入戦略
- 連絡先の詳細
- 研究開発データ
- マーケティングおよび/または販売計画
- 財務/売上/マーケティング情報
- AbbVieの財産であり、公に開示していない運営プロセス/処方およびその他のノウハウ
- AbbVieの知的財産(IP)
- コンピュータソフトウェアプログラム
- 社員・役員・取締役に関する個人情報
- 賃金および給与体系
- AbbVieの名称またはロゴ

AbbVieは会社、社員、および患者さんのプライバシーの権利が確実に保護されるように、上記のすべての機密情報に関して守秘義務契約を締結することによって、サプライヤーがこれらの義務を確認することを要求するものとします。

6. データのプライバシーと保護

サプライヤーが処理する個人データはすべて、サプライヤーが処理する個人データのデータ分類評価に基づいて、すべての適用法およびAbbVieとサプライヤー間の該当する合意に準拠するものとします。

サプライヤーは個人データの処理に関して、AbbVieに全面的に速やかに協力するものとします。これには、以下が含まれます。

- データ分類評価のために十分な情報を提供する
- 要求された第三者サプライヤーのプライバシーおよび/またはセキュリティに関する質問票と評価に回答する
- 個人データの国境を越えた転送または国境を越えた転送に関する必要な影響評価を完了するために追加措置を講じる

サプライヤーは、サプライヤーの業務活動に関連する法令および業界標準に相応する管理上、技術的、物理的な保護手段を備えた、文書化されたセキュリティプログラムを維持するものとします。サプライヤーは、AbbVieとサプライヤー間の合意に定めたAbbVieのデータセキュリティ要件の要求に従い、個人データを保護するものとします。

7. 販売テクニック

サプライヤーは、率直で正直な方法でAbbVieとやりとりをすることが期待されます。次のような販売テクニックは固く禁じられています。

- 裏口販売—適切なAbbVieの販売チャネルを使用せずに、特定の製品またはサービスを購入するよう個人を説得すること。
- 不確実なリードタイムの確約—取引を確保する目的で、達成できないと分かっているリードタイムの約束を故意にAbbVieに提示すること。
- 能力を超える約束—約束を果たせる能力がないにもかかわらず、製品またはサービスの提供を約束すること。
- 競合他社の情報の要求—競合他社の製品、価格設定、諸条件、流通業者、または他の事業セグメントにかかわる情報を要求すること。
- ささやかな贈り物の範囲を超えた贈答品を提供すること。
- AbbVieが求めている物品またはサービスを供給できる唯一のサプライヤーである場合に、AbbVieにあまり好ましくない価格設定を提供すること。
- 締切日以降に提案を受け入れるようAbbVieに要求すること。

8. 信頼できる取引先プログラム

信頼できる取引先プログラムは、政府と企業間の協力的なパートナーシップを促進する自主的なプログラムであり、グローバルなサプライチェーンを確保し、合法でリスクの低い取引を促進することを目的としています。

AbbVieは通関当局が提供する複数のプログラムに参加しています。これには、米国のテロ行為防止のための税関産業界提携(C-TPAT: Customs Trade Partnership Against Terrorism)プログラム、カナダの認定事業者相互承認(PiP: Partners in Protection)およびEU認定事業者制度(AEO: Authorized Economic Operator)が含まれます。これらのプログラムは、要件に照らしたサプライチェーンの安全性の成熟度に応じて、参加者にさまざまなレベルのベネフィットを提供するように設計されています。これにより、政府と事業者の協力関係が深まり、現地・地域・グローバルの全サプライチェーンのセキュリティが強化されます。

信頼できる取引先プログラムの要件を順守するために、AbbVieはサプライヤーのポリシーと慣行を検証して、最高水準の安全性基準が確実に維持されるようにします。一例を挙げると、AbbVieの米国拠点に製品を出荷するすべての戦略的サプライヤーは、評価を完了する必要があります。このため、基本合意書への署名や、是正措置の完了を求められることがあります。

9. サプライヤーの訪問プロセス

サプライヤーは、AbbVieの施設に限定的にアクセスできます。AbbVieのすべてのサプライヤーは、AbbVieの施設への立ち入りを許可された場合、次の手順に従わなければなりません。

- サプライヤーは、適切に登録されていること。

- レイク郡以外の世界各地の施設では、すべてのサプライヤーは施設に立ち入る際に、受付または施設の警備員を通じて訪問を登録する必要があります。
- レイク郡では以下の訪問者登録サイトを使用して登録します。
 - ・ North Chicago, ABV1, J-Buildings <http://eadvanceabv.oneabbott.com/Disclaimer.aspx>
 - ・ Abbott Park (<https://abbottparkvisitor.abbott.com/>)
- 入館バッジ
 - サプライヤー/訪問者には、一時的なバッジが発行されます。これにより、敷地に入ることは許可されますが、建物、立ち入り禁止区域、またはゲートへの立ち入りは許可されません。サプライヤー/訪問者には、サプライヤー/訪問者のスポンサーが同行していなければなりません。サプライヤーには常時、AbbVieの社員が同行します。
 - サプライヤーは、AbbVie発行の適切なIDを提示せずに、AbbVie社員のオフィスまたはデスクを使用することはできません。
 - AbbVieの建物を退館する際は、サプライヤーはビジター用バッジを受け付けに返却します。
 - AbbVieのホスト/スポンサーが、サイト訪問中のサプライヤーについての責任を負います。

労務

サプライヤーは、サプライヤーの社員を公正に扱い、尊厳と敬意を持って社員に接することに尽力するものとします。AbbVieは、社員の公正かつ公平な扱いに関する法規制のすべての要件を順守することをサプライヤーに求めます。そのような扱いには以下が含まれます。

1. 自由意思による雇用

サプライヤーは、強制労働、奴隷労働、契約労働、強制的な囚人労働、または人身売買を使用しないものとします。

2. 児童労働および若年労働者

サプライヤーは児童労働を使用してはいけません。18歳未満の若年労働者は、若年労働者が国の就労可能年齢または義務教育の修了年齢に達していて、危険でない作業に就く場合にのみ、雇用できます。社員の年齢を確認できる適切なデータを含む社員の書類を保持する必要があります。

3. 差別の禁止

サプライヤーは、ハラスメントおよび差別のない職場を提供するものとします。人種、肌の色、年齢、性別、性的指向、民族、身体障害、宗教、政党、労働組合への所属、または婚姻状況などを理由とするハラスメントまたは差別を容赦・容認しません。AbbVieは、サプライヤーに対し、AbbVieの雇用における機会均等へのコミットメントと、多様な視点、インクルーシブな文化、およびすべての社員を尊厳と敬意を持って遇することの価値へのコミットメントを共有することを期待します。

4. 公正な扱い

サプライヤーは、苛酷で非人道的な扱いのない職場を提供するものとします。これには、社員に対するセクシャ

ルハラスメント、性的虐待、体罰、精神的強制、身体的強制、または脅迫がありますが、これに限定されません。

5. 賃金、手当、就業時間数

サプライヤーは、雇用国の習慣に基づき、最低賃金、時間外勤務手当、および法律により定められた手当など、賃金に関して適用される法律に応じて従業員への支払いを行うものとします。

サプライヤーは、従業員への報酬の根拠について、適時に労働者と話し合うものとします。サプライヤーはまた、時間外労働が必要かどうか、および時間外労働の賃金について従業員と話し合うことが求められます。サプライヤーは、社員の就労時間および休暇時間の正確な記録を保持するものとします。職場および報酬に関する問題を解決するには、従業員と直接、オープンに話し合うことが奨励されます。

6. 結社の自由

サプライヤーは、現地法で規定されている通り、従業員が互いに自由に交流する権利を尊重するものとします。従業員は、報復の脅威、脅迫、またはハラスメントを受けずに、就労環境について経営陣とオープンに話し合うことができるものとします。

安全と衛生

サプライヤーは、安全で衛生的な環境を提供して、職場と社宅(提供する場合)において従業員を保護するものとします。サプライヤーには、社員の衛生・安全に関するすべての標準の法規制要件を順守することが求められ、これには以下が含まれます。

1. 従業員の保護

サプライヤーは、職場、および住居や運搬用車両など、会社が提供するその他の施設において、化学的、生理学的、物理的危険への暴露、および肉体的に過酷な任務から従業員を保護するものとします。例えば、サプライヤーの経営陣は、実施する作業の種類に応じて、適切な聴覚保護、手袋、マスク、または従業員を保護するその他の個人防護用具を提供することに責任を負います。

2. プロセスの安全性

サプライヤーは、重大な影響をもたらす可能性のある化学的または生物学的プロセスによるインシデントを特定・防止し、これに対応するためのプログラムを整備するものとします。

3. 緊急時の準備と対応

サプライヤーは、職場および社宅(提供されている場合)に影響を与える潜在的な緊急状況を特定・評価し、効果的な緊急対策および対応手順を採用・維持することで、悪影響が発生する可能性を最小限に抑えるものとします。例えば、サプライヤーの経営陣は、産業タイプ別、および火災・安全規制に基づき、安全意識向上トレーニング、防災訓練、またはその他のタイプの安全トレーニングを必要に応じて実施する責任を負います。

4. ハザード情報

サプライヤーは、職場の危険物(医薬品や薬剤中間材を含む)に関する安全性情報を利用できるようにして、そのようなハザードについて従業員を教育・訓練し、従業員をハザードから保護するものとします。

5. 偽造防止

AbbVie製品の偽造、不正流用、盗難の危険からサプライチェーンを守るための共同の取り組みを続ける中で、AbbVieは、サプライヤーが偽造、不正流用、または盗取された製品を購入する機会を提示された場合、またはそのような製品に気付いた場合に、AbbVieに直ちに通知することをサプライヤーに求めます。

環境

サプライヤーは、環境上責任のある効率的な方法で運営し、環境への悪影響を最小限に抑える努力をするものとします。サプライヤーは、天然資源を浪費せず、可能な限り危険物を使用しないようにするか使用を最小限にし、また、再利用やリサイクル活動を推進することが推奨されます。環境および規制物質に関するあらゆる法律、規制、基準、条例、規則、許可、認可、承認、命令を順守することがサプライヤーに求められます。

1. 環境上の許可

サプライヤーは、環境関連の必要な許可、認可、承認を取得し、適用されるすべての運営上の要件および報告要件を順守するものとします。

2. 廃棄物および排気ガス

サプライヤーは、廃棄物、排気ガス、廃水の安全な処理、移動、保管、リサイクル、再利用、または管理を確実にを行うためのシステムを整えるものとします。人の健康や環境衛生に悪影響を与える可能性のある廃棄物、廃水、または排気ガスは、環境に放出する前に適切に管理、統制、処理するものとします。

3. 流出および放出

サプライヤーは、環境へのあらゆる偶発的な流出・放出を防ぎ、これに素早く対応するためのシステムを整えるものとします。

4. 規制物質

サプライヤーは適用されるすべての規制物質に関する法律、規制、およびクライアントの要件に従うものとします。これには、材料/部品の物質組成、特定の物質の禁止または制限、およびリサイクルと廃棄のラベル表示の要求に対応することが含まれます。

5. 紛争鉱物

サプライヤーは、AbbVieに供給するすべての部品および製品に「紛争鉱物」が含まれないことを保証するものとします。紛争鉱物とは、コンゴ民主共和国(DRC)を原産地とする鉱物、またはDRCや周辺国の武装グループに直接または間接的に資金を供給するか利益をもたらす周辺国を原産地とする鉱物であり、コロンバイト・タンタライト、スズ石、鉄マンガン重石(またはそれらの派生物としてのタンタル、スズ、タングステン)、または金などがあ

ります。サプライヤーは、この目的を達成するためにデザインされたシステムを整えるものとします。

6. 調達

サプライヤーは、自身のサプライヤーが環境への潜在的影響を最小限に抑え、事業を行う地域社会に健康上の悪影響を与えることなく事業を行うよう図るため、持続可能な調達ポリシーを定めるものとします。

AbbVie は製薬業界サプライチェーンイニシアティブ (www.pscinitiative.org) の積極的なメンバーであり、倫理、人権と労働、健康と安全、環境保護、および管理システム分野で、責任あるサプライチェーン慣行の構築と実施を目指す PSCI 原則を支持しています。AbbVie は関連するすべての製薬業界のサプライヤーが PSCI の組織に参加し、積極的に関与することを奨励します。

7. 目標設定および一般開示

サプライヤーは、環境の持続可能性の目標を設定し、それらの目標に対する進捗状況を毎年、公表することが奨励されます。この開示は、一般に入手可能な年次持続可能性レポートまたは CDP などの公的な開示形式により行う必要があります。AbbVie は科学的根拠に基づく温室効果ガス排出量目標を設定することに取り組んでおり、すべてのサプライヤーが同様の目標を設定することを推奨します。

管理システム

サプライヤーは、品質管理システムを整備し、継続的な改善を推進し、このAbbVieサプライヤー行動規範に規定される原則を順守していることを保証するものとします。サプライヤーは、国際規格ISO 9001と現地の規制への準拠を維持することが奨励されます。品質管理システムの要素には次が含まれます。

1. コミットメントおよび説明責任

サプライヤーは、適切な財源、人的資源、および技術リソースを割り当てるものとします。

2. 法的要件と顧客の要件

サプライヤーは、適用されるすべての法律、規制、規則、条例、許可、認可、承認、命令、基準、および関連する顧客要件を特定し、これらの順守を徹底するものとします。

3. リスク管理

サプライヤーは、このAbbVieサプライヤー行動規範の対象となるすべての分野のリスクを判断および管理するための仕組みを整備するものとします。サプライヤーは、十分な財源を持ち、事業の継続性を確保して、支払い能力を維持するものとします。

4. 書類

サプライヤーは、これらの原則への準拠、および適用される法律、規制、規則、条例、許可、認可、承認、命令、基準、および関連する顧客要件の順守を実証するために必要な文書を維持するものとします。

5. トレーニングおよびコンピテンシー

サプライヤーは、AbbVieが要求し、契約の対象となっているサービスを遂行するために、経営陣および従業員が適切なレベルの知識、スキル、能力を得ることのできる効果的なトレーニングプログラムを確立するものとします。トレーニングが実施済みであることの証明として、すべての社員についてトレーニングの記録がなければなりません。

6. 継続的改善

サプライヤーは、以下を行うことによって継続的に改善することが期待されます。(1)業績目標を設定する、(2)導入計画を実施する、(3)社内外の評価、検査、および経営監査によって特定された不備を是正するために必要な措置を講じる。

7. 話し合い

サプライヤーは、AbbVieの適切な事業機能(AbbVieの調達/サプライヤー管理を含む)とのオープンかつ直接的なコミュニケーションを維持するものとします。

サプライヤーは、供給契約書や品質契約書に記載の要件、製品品質、または規制当局への提出に関する規定の準拠に影響する可能性のある変更を行う前に、AbbVieに通知するものとします。

データ要件

サプライヤーは、AbbVieと取引を始める前に、すべてのAbbVieデータ要件を満たすものとします。

1. サプライヤーの設定

サプライヤーは、すべての重要なデータ(税務書類、銀行情報など)を提供して、AbbVieのシステムで適切な設定を行うものとします。

2. トランザクション

サプライヤーは、契約が完全に締結され、発注書が発行されるまで、サービスを履行しないものとします。サプライヤーは、AbbVieが指示する通りに、提出された請求書で、すべて正確な情報を提供するものとします。

AbbVieサプライヤー行動規範

必要な行動:

以下のリンクをクリックして、貴社が、AbbVieサプライヤー行動規範に定められた原則、ガイドライン、および期待事項を受領、読了、理解したこと、および順守することを保証してください。

[私は、所属会社がAbbVieサプライヤー行動規範を受領、読了、理解していること、およびその内容に従うこと、またはその意図に則した慣行を実施することを保証します。](#)